

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	令和元年7月24日
発信課	文化振興課
担当者	諸戸千代
連絡先	電話 内線 8-6324
	FAX
	E-mail

分類	<input checked="" type="radio"/> イベント・行事 <input type="radio"/> 募集 <input type="radio"/> 契約・入札 <input type="radio"/> 会議・説明会 <input type="radio"/> その他 (該当する分類を囲むこと。)
日程	7月20日(土曜日)～11月4日(月曜日)
発表項目 (行事名)	第2回企画展 「井上靖 人と文学X—『おろしや国酔夢譚』執筆の頃」展
概要 (趣旨・日時・場所・内容等を記入すること。)	<p>第2回企画展 「井上靖 人と文学X—『おろしや国酔夢譚』執筆の頃」展を開催します。</p> <p>市民への周知を図るため、取材及び報道についてよろしくお願い申し上げます。</p> <p>期 間 2019年7月20日(土曜日)から11月4日(月曜日)まで</p> <p>場 所 井上靖記念館(旭川市春光5条7丁目)</p> <p>休館日 毎週月曜日、ただし月曜日が祝日の場合は翌日(6月から9月は無休)</p> <p>開館時間 午前9時から午後5時まで(入館は4時30分まで)</p> <p>展示内容 日本文学大賞受賞作「おろしや国酔夢譚」に焦点を当て、昭和40年から43年頃の井上靖の姿と作品を紹介します。映画『おろしや国酔夢譚』に関する事物も展示します。参考資料や校正原稿など「おろしや国酔夢譚」執筆の軌跡をたどる貴重な資料を公開しています。</p>
添付資料	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 企画展チラシ
報道(取材)に当たってのお願い	その他詳細については、井上靖記念館にお問合せください。 電話 51-1188 FAX 52-1740 担当 上田
備考	

2019年度 第2回企画展

井上靖 人と文学 X

— 「おろしや国酔夢譚」 執筆の頃

日本文学大賞受賞作「おろしや国酔夢譚」
に焦点を当て、昭和40年から43年頃の井
上靖の姿と作品を紹介します。

令和元年

7月20日(土) ▶ 11月4日(月・祝)



指定管理者 NPO 法人旭川文学資料友の会

井上靖記念館

〒070-0875

北海道旭川市春光5条7丁目

TEL 0166-51-1188 / FAX 0166-52-1740

共催 井上靖記念文化財団

NPO 法人旭川文学資料友の会

休館日 毎週月曜日

ただし月曜日が祝日の場合は翌日

※9月までは無休

開館時間 午前9時～午後5時

(入館は4時30分まで)

<http://inoue.abs-tomonokai.jp>

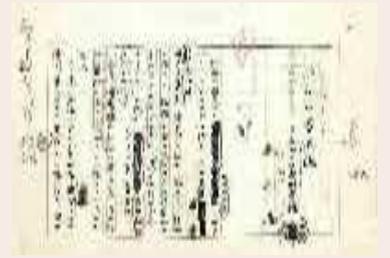
観覧料	井上靖記念館単独券			彫刻美術館共通券	
	個人	団体	パスポート	個人	パスポート
一般	200円	160円	400円	450円	900円
高校生	100円	80円	200円	250円	500円
中学生以下	無料				



イルクーツクで光太夫が描いた日本地図



光太夫の手紙



「二人の漂流民-おろしや国酔夢譚終篇」

日本文学大賞受賞作「おろしや国酔夢譚」に焦点を当て、昭和40年から43年頃の井上靖の姿と作品を紹介します。

2019年度第2回企画展

井上靖 人と文学 X

—「おろしや国酔夢譚」執筆の頃



横浜港よりパイカル号にてソ連へ出発

開催期間	令和元年7月20日(土)～令和元年11月4日(月・祝) 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日	毎週月曜日 ただし月曜日が祝日の場合は翌日 ※9月までは無休
会場	井上靖記念館展示室
観覧料	常設展示観覧料に含む (一般200円 高校生100円 中学生以下 無料)

井上靖記念館

北海道旭川市春光5条7丁目

TEL: 0166-51-1188

FAX: 0166-52-1740

【アクセス】

- ◆旭川電気軌道バス (約20分～25分)
 - ・「旭川駅前」バス停発 5・6・22・522・80番
 - ・「1条通7丁目」バス停発 522・80番
 - ※いずれも「春光園前」バス停下車すぐ。
- ◆タクシー
 - ・旭川駅から約15分～20分
- ◆自家用車
 - ・道央自動車道・旭川鷹栖インターより約10分
(駐車場は建物裏にあります)



小説「おろしや国酔夢譚」構成

- 1章 漂流—アムチトカ着
- 2章 アムチトカーカムチャッカヘーヤクーツク—イルクーツク
- 3章 イルクーツク着 キリル・ラックスマンと出会う
- 4章 イルクーツクでのそれぞれの日々。
- 5章 ペテルブルグに（モスクワ街道）。
- 6章 エカチェリーナ二世に拝謁。
- 7章 エカチェリーナ二世から日本へ帰国の許しが出る。
- 8章 北海道東岸着—函館、松前、江戸へ。

展示点数 60点

展示内容

- 1 上 タイトル・はじめに・ソビエトへの旅(写真)・あらすじ
下 ・『おろしや国酔夢譚』(単行本)・『おろしや国酔夢譚』(単行本新装版)・『おろしや国酔夢譚』(文庫本)・『北槎聞略』(単行本)・『北槎聞略』(文庫本)・『通航一覧』
- 2 上 1～2章 ・本文引用
下 単行本化のゲラ刷り原稿(直筆校正)
- 3 上 3～4章 ・本文引用・光太夫の描いた地図(モスクワ軍事古文書館收藏)
・光太夫の書いた手紙(ペテルブルグにて)
下 創作資料(加藤九祚・亀井高孝・村山七郎・中村喜和・高野明等)「カムチャツカの歴史」(オークニ著 原 子林三郎訳)「カムチャツカ誌」(クラシェンコフ)「イルクーツク年代記」『井上靖小説全集』のための校正本
- 4 上 5～7章 (あらすじ・本文引用・連載誌面)・モスクワの絵はがき
下 『人と文学』(「おろしや国酔夢譚」頁)・絵はがき(モスクワ、レニングラード)・光太夫の描いたペテルブルグ地図・映画パンフレット
- 5 上 8章 ・本文引用・ロシア船画(『北槎聞略』)・トロップカ画(『北槎聞略』)
下 根室市・松前町関連資料・北槎聞略中の根室での絵図
・「おろしや国酔夢譚」取材ノート(直筆)・「二人の漂流民」原稿(レプリカ)・『江戸旧事考』・『使節アダム・ラックスマンも訪日日誌』
- 6 上 ・随筆引用(「シベリアの旅」より)・紀行文引用(『西域物語』)・映画説明・映画パンフレット画像
下 ・『毎日グラフ別冊 おろしや国酔夢譚』『西域物語』・映画『おろしや国酔夢譚』パンフレット